

<b>Title</b>	経済地理学
<b>Author</b>	長尾, 謙吉
<b>Citation</b>	経済学雑誌. 別冊. 106 卷 1 号
<b>Issue Date</b>	2005-04
<b>ISSN</b>	0451-6281
<b>Type</b>	Learning Material
<b>Textversion</b>	Publisher
<b>Publisher</b>	大阪市立大学経済学会
<b>Description</b>	

Placed on: Osaka City University Repository

# 経済地理学

長尾謙吉

## 1. 科目のねらいと進め方

経済学部の実用科目「経済地理学」は、2003年度より私が担当しています。2004年度は非開講でした（実用科目「都市経済論」を特別に担当しました）。2005年度は、2003年度の内容に修正を加えつつ講義を展開していく予定です。

シラバスでは、「講義の主題と目標」を以下のように述べています。

経済活動のグローバル化は、世界規模で経済や社会の同質化を進めて「地理の終焉」を導くともいわれます。しかし、グローバル化が進むなかで、世界の諸地域の多様性・異質さが増していることも確かです。こうしたグローバル化とローカル化の逆説的な動きを捉えるために、本講義では経済学に「空間」の概念をとり入れ、これによって、経済や社会が新しい空間を作り出してゆく過程を考察していきます。

経済学の基本を学ぶ際、空間は考察の対象とされず、ペン先のような「一点世界」で経済活動が行われることを（暗黙の）前提としています。経済地理学は、空間を考察の対象に加えて経済活動・社会活動を捉える経済学の実用科目です。

テキストは、水岡不二雄編『経済・社会の地理学』有斐閣、2002年を用います。テキストを中心に講義を進めます。（私も執筆者の一人なので後ろめたい面もありますが）説明に使う図表が多く掲載されていますので、講義には必ず持参してください。なお、毎回、簡単な講義の流れや参考資料を含むハンドアウトを配布しま

す。板書はほとんど行いません。数回は、日本語や英語のビデオを活用する予定です。2003年度には、カリフォルニア大学ロサンゼルス校のアラン・スコット教授に「グローバル都市-地域」についての特別講義をしていただきました（英語、若干の日本語解説つき）。2005年度にもこうした機会を設けることができればよいですが、まだわかりません。

講義計画は、テキストの流れに大まかに沿いながら以下のように進める予定です。

1. グローバル化とローカル化
2. 経済学が忘れてしまった空間
3. 空間の広がりや空間の距離・位置
4. 世界システムと国家領域
5. ネットワークによる空間の統合
6. 領域統合と土地利用調整
7. 建造環境と社会資本
8. 産業集積と企業間連関
9. 局地労働市場と都市空間の形成
10. 新国際分業と世界の経済地理
11. 「世界都市」をめざす都市間競争
12. 経済地理学の可能性

## 2. レポートとテスト——成績評価——

成績は、3度出題する予定のレポートと期末試験によって成績を評価する予定です（配分は未定）。講義中に出題する小レポートも加味します。提出課題が多くなりますので、覚悟のうえで受講してください。

第1回目の講義時に、第1回目のレポートについて説明します。第1回目のレポートの課題は、

- ① グローバルとローカルについて持つイメージ
- ② 経済地理学を受講する理由
- ③ 自己紹介と講義への要望

です。①については、テキスト『経済・社会の地理学』の序章に一橋大学の学生さんに聞いたものが載っています。自分の持つイメージと比較してみてください。②について積極的な理由がない人は、本講義の受講をやめた方がよいでしょう。③はどのような人が講義を受けているのか知りたいので聞いています。受講者に興味を抱いてもらえるような講義をするには、まず受講者（お客さん？）のマーケティング調査が不可欠です。ご協力よろしくお祈いします。

第2回目と第3回目のレポートについては、複数の課題から一つを選択する形式を考えています。

第2回目のレポートは、テキスト第5章までの内容を踏まえたものにする予定です。課題の一つとして考えているのが、コンビニエンスストアの立地です。第5章には、商業立地や都市形成を考える上で重要な中心地理論が紹介されています。みなさんも日常生活を通じて、百貨店・スーパー・薬局・酒屋など様々な商業施設が立地する場所の違いを感じていることでしょう。身近なコンビニエンスストアの立地を調べて、理論を活用しながら立地を説明していただきます。立地は、タウンページ（電話帳）や企業ホームページを活用し、さらに実地調査を通して調べることになります。地図作成という楽しいお絵かき作業も欠かせません。

参考文献として、とりあえず以下のものをあ

げておきます。講義時にさらに詳しく提示・説明します。

〈コンビニエンスストアの立地・参考文献〉

- ・ 箸本健二「流通革命——コンビニエンスストアの立地戦略」松原宏編『立地論入門』古今書院、2002年、98～107頁。
- ・ 荒木俊之「コンビニエンスストアと都市空間」荒井良雄・箸本健二編『日本の流通と都市空間』古今書院、2004年、55～73頁。
- ・ 土屋 純「コンビニの農山村地域への展開可能性」荒井良雄・箸本健二編『日本の流通と都市空間』古今書院、2004年、155～172頁。

第3回目のレポートは、テキストの様々な内容が凝縮されている第9章「経済のグローバルな領域統合と『世界都市』をめぐる競争」を踏まえたものにして考えています。第9章には4つの課題が掲載されています。そのうちの一題を選択してレポートを作成していただく予定です。

期末テストについては、論述形式でのテストを予定しています。2003年度のテスト問題は、『経済学雑誌』第104巻別冊、2003年10月発行に掲載されていますので参考にしてください。持ち込み可でテストを行っていますので、テキストや参考文献の丸写しは不可です。限られた時間内に、自らの意見を交えて論述することが求められます。

以上のように2005年度の経済地理学は課題も多く、(日本の大学の講義になれた)受講者にとっては大変かもしれませんが、知的(地的?)興奮あふれる講義を目指しますので、よろしくお祈いします。